ネットで通話 興味津々

北見工大で科学教室 子供らスカイプ体験

小・中学生を対象にした科学教室「不思議がいっぱい科学の世界」が12日、北見工大で開かれ、保護者と子供約40人がパソコンを使った実験に参加した。（東久保逸夫）

「いろんな友達と話せる」

電子情報通信学会主催。九州工業大の尾知博教授がパソコン通信の実験と題して、インターネット上で会話ができる「スカイプ」を紹介。実際に尾知教授の博多の自宅に電話したり、インドネシアに住む知人に電話をかけたりした。

その後、子供たちは室内で、パソコン画面を通じて相手と連絡、自己紹介をするなど使い方を学んだ。その他にもパソコンを使って、自分の声を変えるボイスチェンジャーにも挑戦した。北見市内の小学6年の竹田彬人君(11)は「初めてスカイプをやった。いろんな友達と話すことができていいと思う」と興味津々だった。

インターネット上で相手の顔が見ながら通話ができる「スカイプ」の実演が行われた科学教室

当麻 道東北トピックス

実り丸く甘い！

でんすけすいか収穫

【当麻】上川管内当麻町特産の「でんすけすいか」の収穫が13日、町内の農家3戸で始まった＝写真＝。濃い緑色の実が1玉ずつ丁寧につるから切り離され、14日早朝に札幌と旭川の卸売市場で行われる初競りに向け、出荷された。

答品としても人気が高いブランドスイカで、例年は1玉6千円前後で販売されている。

当麻農協でんすけ部会長の高橋祝明さん(59)＝町中央1区＝のビニールハウスでは、丸々とした実を高橋さんらが手でたたいて熟れ具合を確かめながら収穫した。高橋さんは「当初は気温が低く日照不足も心配したが、6月に入ってからの好天で出来はまずまず。景気は良くないが、スイカのおいしい暑い夏になってほしい」と話している。今年は約50戸で8月下旬まで収穫し、2億円の販売を

モンゴルで体育指導へ

斉藤さん、市長に抱負

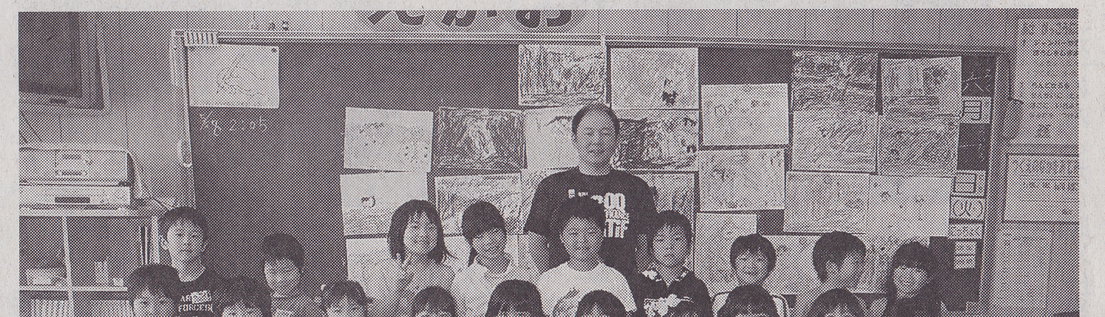
国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊として21日にモンゴルのダルハンに派遣される北見市の斉藤徹さん(23)が14日、小谷毎彦市長を表敬訪問した。斉藤さんは北見緑陵高出身で今年3月に山口大教育学部を卒業したばかり。中学高校の保健体育と中学英語の教員免許を持ち、今回の派遣先の学校では体育とバスケット部の

表敬訪問でモンゴル語の自己紹介をした斉藤徹さん

なかよし

北見・美山小1年3組

担任・島村圭吾先生



人が悪戦苦闘しながら火をおこした。

十勝エコロジーパーク財団の主催。講師のボーイスカウト群馬第4団のメンバーが2本の棒を板にこすりつけて摩擦熱で火をおこす「もみぎり」や、道

あすの気温(℃)　最高　最低

時　15時　18時　21時

26
14
21
15